

第22回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成22年2月

実施機関:埼玉県 北本県土整備事務所

鴻巣市 まちづくり部 道路課

事業の名称:鴻巣都市計画道路事業

3・3・3号 駅前通線

吹上駅地区整備事業

吹上駅北口駅前広場

実施都市名:埼玉県 鴻巣市

事業の目的

鴻巣市北部の玄関口であるJR高崎線吹上駅は、1日1万人の利用者があるが駅前広場が狭く、路線バスの転回にターンテーブルを使用するなど施設整備が遅れ、交通結節点としての機能はマヒしていた。

また、駅に接続する吹上駅前通線は、主要幹線道路であるが歩道未整備であり、バスや自動車、自転車、歩行者が輻輳し危険であるとともに、放置自転車も多く沿道地域の発展に支障をきたしていた。

歩行者にやさしい、地域の顔にふさわしい交通結節点の形成を目指し、鴻巣市が実施する駅前広場整備と連携し埼玉県が街路整備を行い、効率的かつ効果的に都市施設整備を行ったものである。

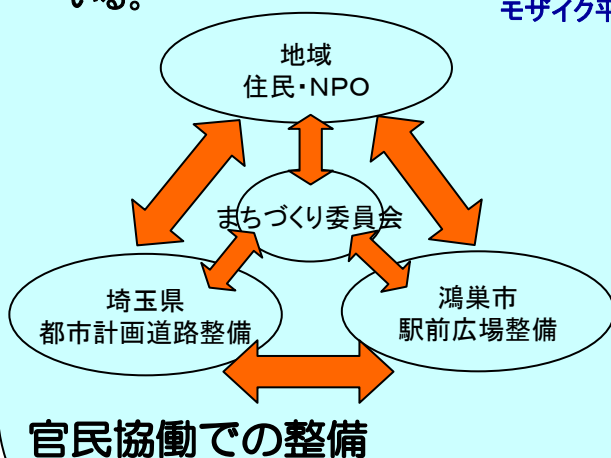
事業概要

本路線は、隣接する行田市の市街地へアクセスする幹線道路であり、また、沿線には大学もあることから、歩行者が非常に多い。

このため、歩道は、歩行者道と自転車道のすみわけを図った形態とし、駅前広場と併せて電線地中化を行ったことにより、防災性の向上と同時に都市景観の向上も図られている。

整備にあたっては、地元自治会・商工会等で構成される「吹上駅北口周辺まちづくり委員会」を立ち上げ、定期的に会議を開き、利用者や地域の意見を反映させ整備を進めた。

また、広場整備にあたっては、モザイク壁の製作・設置を、地元のNPO法人の協力のもと、心身障がい者作業所との共同作業により行った。時計塔については、ものづくり大学にて製作・設置を行うなど、駅前整備にあたっては、地元住民が整備の一部を担っている。



モザイク平板製作の様子



ものづくり大学製作の時計塔



モザイク平板設置後

事業位置図

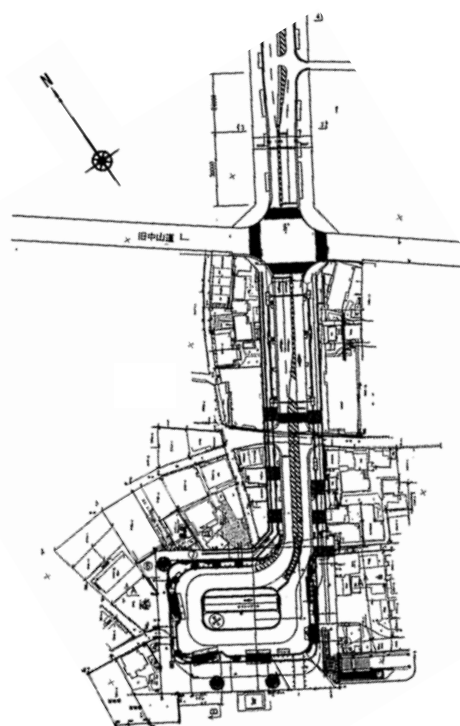


全体図(鳥瞰図・平面図)

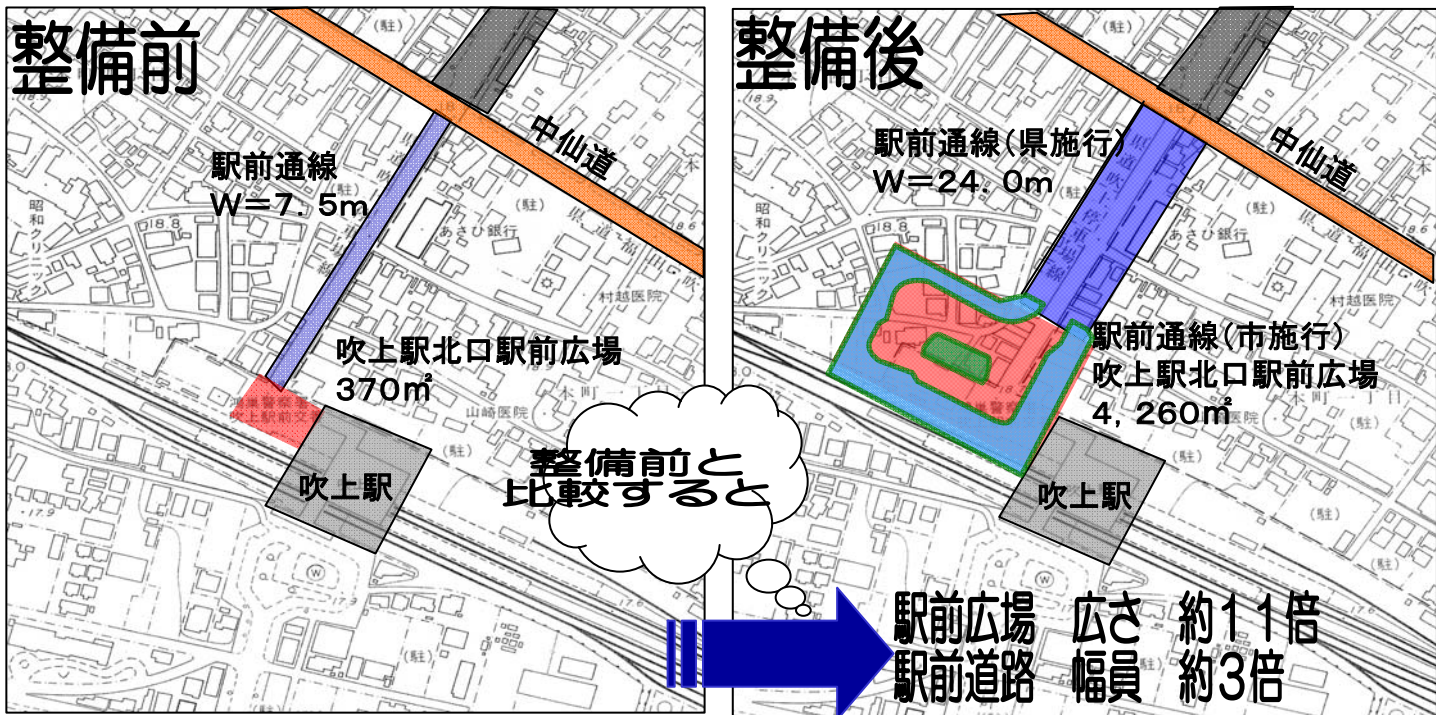
鳥瞰図



平面図



駅前通線の整備効果アピール資料



(事業概要)

事業名: 鴻巣都市計画道路事業
吹上駅地区整備事業

路線名: 3・3・3号駅前通線
吹上駅北口駅前広場

事業箇所: 鴻巣市吹上本町

事業延長: 116m(都市計画道路)
4,260m²(駅前広場)

幅員: 24m

総事業費: 約23億円

事業期間: 平成11年度から平成20年度

(参考)

元荒川親水護岸に咲く約500本の桜が満開になる4月に開催される「吹上さくらまつり」においてはより多くの観光客が訪れ賑わいを見せている

元荒川の桜



さくらまつりの様子

H19 20,000人

↓

H21 25,000人

+5,000人の増加

(整備効果)

- 歩道の拡幅により歩行者の安全性が高まった。
整備前: なし
整備後: 6.0m
- コミュニティバス乗り入れが可能となり交通結節点としての利便性が向上した。
(18本/日)



整備後の駅前通線



運行開始したコミュニティバス

吹上駅北口駅前広場 事業前後写真

平成10年4月撮影



平成21年3月撮影



駅前通線 事業前写真

平成10年4月撮影



駅前通線 事業後写真

平成21年3月撮影

